

# 加賀検定

## 第1回 加賀ふるさと検定試験問題

初級（全60問）

2013年 12月1日

加賀ふるさと・もてなし検定実行委員会

各問題に対して、それぞれ①～④までの選択肢の中に正解が1つあります。解答用紙に、正解と考える番号を1つだけ○で囲って下さい。(黒色のエンピツもしくはボールペンを使用のこと)

問1 加賀市で最も古い宮地向山遺跡は、旧石器時代の遺跡で、今からおよそ( )年以上前のものと考えられている。

- ①4,000 ②5,000 ③8,000 ④13,000

問2 八日市川の改修工事中に発見された( )は、加賀市における弥生時代の代表的な遺跡で、「北陸の登呂遺跡」とも称されている。

- ①猫橋遺跡 ②動橋遺跡 ③西島遺跡 ④加茂遺跡

問3 昭和35年、加賀市( )町で、古墳時代の玉造職人集団が住んでいたとされる玉造遺跡が発見された。

- ①小塩辻 ②富塚 ③片山津 ④合河

問4 平安時代後期の書『白山之記』には、柏野寺、温泉寺、極楽寺、小野坂寺、( )の5つの寺院を「白山五院」と称し、白山信仰の拠点としていたことが記録されている。

- ①那谷寺 ②栄谷寺 ③全昌寺 ④大聖寺

問5 律令時代、駅馬が常備された「駅」が、北陸道が通る江沼郡内には、( )と朝倉の2ヶ所に設置されていた。

- ①塔尾 ②橋 ③潮津 ④動橋

問6 寿永2年、平家の武将( )は、篠原の地で、白髪を黒く染めて参戦し、討ち取られたという伝説がある。

- ①斎藤実盛 ②平宗盛 ③木曾義仲 ④平維盛

問7 文明年間頃、蓮如の四男蓮誓は、当地( )の光教寺に拠点を置いて勢力を築いた。

- ①作見村 ②富塚村 ③尾中村 ④山田村

問8 山中漆器は、戦国時代、大聖寺川上流の( )に、越前から木地師が移住したことに始まると伝えられている。

- ①真砂村 ②九谷村 ③生水村 ④杉水村

問9 関ヶ原の戦いに伴い、当地方でも大聖寺城主( )と、金沢城主前田利長との間で、戦いがあった。

- ①山口玄蕃 ②柴田勝家 ③溝口秀勝 ④丹羽長秀

問10 溝口秀勝は、大聖寺城主としておよそ( )年間、当地方を治め、その後、新潟の新発田に移った。

- ① 3年間 ② 5年間 ③ 10年間 ④ 15年間

問11 天保11年、大聖寺藩では、藩士たちが学問を学ぶために( )と称する学問所が設けられた。

- ①明倫館 ②時習館 ③弘道館 ④修養館

問12 江戸時代より、大聖寺では絹織物の生産が盛んであったが、これは、もともと領内( )村の商人が大聖寺に広めたものと伝えられている。

- ①庄 ②動橋 ③山代 ④勅使

問13 松尾芭蕉は、大聖寺の全昌寺で「庭掃て出ばや寺に散る( )」の一句を詠んだ。

- ① 枯葉 ② 柳 ③ 桜 ④ 紅葉

問14 大聖寺藩2代藩主前田利明の4男( )は、上野寛永寺で將軍家の法会の接待役となったが、同じ役目の織田秀親を刺殺し、切腹となった。

- ① 前田利極 ② 前田利道 ③ 前田利平 ④ 前田利昌

問15 大聖寺藩初代藩主祖前田利治の母( )とは、2代將軍徳川秀忠の2女で加賀3代藩主前田利常に嫁いだ珠姫のことである。

- ① 芳春院 ② 寿福院 ③ 天徳院 ④ 玉泉院

問16 宝永6年、大聖寺3代藩主前田利直の御休憩所として建てられた「長流亭」の屋根は( )である。

- ① 瓦葺き ② 柿葺き ③ 檜皮葺き ④ 茅葺き

問17 江沼神社境内の梅花庵には、京都四条派の絵師( )が描いた天井画「四季草花図」が残されている。

- ① 広田百豊 ② 吉田公均 ③ 佐々木泉景 ④ 山口梅園

問18 加賀市の橋立町、塩屋町、( )町の3ヶ所は、江戸時代から明治時代にかけて、北前船主や船頭を輩出した「北前船主のふるさと」として知られている。

- ① 塩浜 ② 伊切 ③ 上木 ④ 瀬越

問19 大聖寺藩士石川嶂は、明治初年に( )に国内初の蒸気船「一番丸」を就航させた。

- ① 琵琶湖 ② 柴山潟 ③ 河北潟 ④ 三方五湖

問20 明治2年に発足した「大聖寺県」は、僅か4ヶ月ほどで( )に合併され、消滅した。

- ① 金沢県 ② 福井県 ③ 石川県 ④ 美川県

問21 明治10年、大聖寺松島町に「加州松島社」と称する会社がつくられ、日本で最も早い時期に、( )の工業生産が行われた。

- ① 石鹼 ② マッチ ③ 鉛筆 ④ 木製リム

問22 明治4年、大聖寺藩領内でおきた農民一揆は( )一揆と呼ばれている。

- ① みの虫 ② 稲わら ③ だいこん ④ 陣笠

問23 明治11年、橋立や瀬越の北前船主らの出資により、大聖寺に( )銀行が設立された。

- ① 十四 ② 六十四 ③ 七十七 ④ 八十四

問24 チェーンやホイールの生産では日本のトップクラスである「大同工業株式会社」は、昭和8年に設立された( )株式会社を前身とする。

- ① 山中チェーン ② 大聖寺チェーン ③ 国益チェーン ④ 富国チェーン

問25 加賀市の無形文化財である塩屋町の「シャシャムシャ踊り」は別名( )と呼ばれている。

- ① 念仏踊り ② 浜踊り ③ 蓮如踊り ④ お浄土踊り

問26 大聖寺敷地の菅生石部神社では、毎年、天神講の中で、氏子の少年たちによる稚児舞( )が行われ、現在、この舞は加賀市の無形民俗文化財に指定されている。

- ①風の舞 ②笛の舞 ③蝶の舞 ④火の舞

問27 「おとなびた」「ませている」という言葉は、加賀市の方言では( )と言った。

- ①りくつな ②ひねくらしい ③いじくらしい ④こんじょよし

問28 他人をからかうことを、加賀市の方言では( )と言った。

- ①がさる ②いんにかかる ③いじかる ④どずねる

問29 大聖寺出身の医師( )は、嘉永元年に大坂の緒方洪庵が主宰する適々齋塾に入門し、同6年に塾頭となった。

- ①稲坂謙吉 ②黒川良庵 ③渡辺卯三郎 ④竹内玄同

問30 現在の加賀市加茂町出身の車夫、北ヶ市市太郎は明治24年4月、大津事件の時に( )国の皇太子の危機を救った。

- ①ドイツ ②ギリシャ ③ロシア ④イギリス

問31 橋立村出身の北前船主( )は、明治中頃、拠点(キョウテン)を函館に移し、北洋漁業(テイシヨウ)に転身を図った。

- ①久保彦兵衛 ②西出孫左衛門 ③広海二三郎 ④大家七平

問32 大聖寺出身の海軍大将瓜生外吉の妻は、明治4年、岩倉遣欧使節団でアメリカに渡った女子留学生の一人で、わが国に音楽教育を広めた( )である。

- ①山川捨松 ②津田梅子 ③永井繁子 ④上田梯子

問33 加賀市桑原町出身の( )は、人間の色覚に関する研究で重要な法則を発見しノーベル賞候補にもなった。

- ①本川弘一 ②高峰讓吉 ③栂場重男 ④馬嶋健吉

問34 大聖寺穴虫(現在の錦町付近)出身の( )は日本放送協会(NHK)の初代会長となった。

- ①岩原謙三 ②飛鳥井清 ③梅田五月 ④竹田儀一

問35 錦城小学校前庭には、大聖寺耳聞山町出身で寄生虫学の先駆者として知られる( )博士の胸像が建っている。

- ①稲坂謙吉 ②桂田富士郎 ③大幸勇吉 ④宮永盛雄

問36 大聖寺耳聞山町出身の( )は、日本の口語短歌の先駆者として知られる。

- ①西出朝風 ②梅田五月 ③竹久夢二 ④広田百豊

問37 加賀市出身の作家、深田久弥は、昭和46年に( )を登山中に、脳卒中で急死した。

- ①茅ヶ岳 ②槍ヶ岳 ③ハヶ岳 ④白馬岳

問38 大正時代、山中温泉鶴仙溪を訪れた( )は、こおろぎ橋から川に飛び込んだという逸話が残っている。

- ①北大路魯山人 ②竹久夢二 ③田山花袋 ④泉鏡花

問39 中谷宇吉郎の著書「黒い月の世界」は、宇吉郎が( )の山の山頂でおこなった雪の観測のことを書いた随筆集である。

- ①フィリピン ②ハワイ ③アラスカ ④カナダ

問40 加賀地方には、コンニャクを白ゴマ、白味噌で味付けした( )と称するタレをつけて食べる精進料理の一種が伝えられている。

- ①エビス ②キシズ ③オカラ ④ダダミ

問41 山代温泉薬王院にある五輪塔は、平安中期、悉曇学(梵語)を究め、わが国50音字の配列に大きな影響を与えた僧( )の供養塔だとされている。

- ①空海 ②最澄 ③延昌 ④明覚

問42 片野鴨池は平成5年に、国際的に重要な湿地として( )条約の登録湿地に認定された。

- ①ラムサール ②パリ ③ワシントン ④ジュネーブ

問43 「魯山人寓居いろは草庵」は、もと山代温泉の旅館( )の離れを利用した施設である。

- ①白銀屋 ②吉野屋 ③山下屋 ④吉田屋

問44 大聖寺番馬町にある「深田久弥山の文化館」は、もと( )の建物を利用した文化施設である。

- ①織物会社 ②酒醸造会社 ③機械製造会社 ④漢方薬店

問45 加賀市の面積は、およそ( )平方キロメートルである。

- ① 187 ② 306 ③ 514 ④ 667

問46 大聖寺川の河口と北潟湖に囲まれた小島(一部陸続き)は、「鹿島の森」と呼ばれており、江戸時代には( )と称する法華宗の道場があった。

- ①萬宝院 ②幸福院 ③吉祥院 ④宗寿院

問47 加賀市の片野海岸から尼御前岬にかけての海岸沿いには、( )の群生がみられる。

- ① ノハナショウブ ② クロユリ ③ ハイマツ ④ カタクリ

問48 加賀市の( )町では、ハウスによるトマト栽培が行われている。

- ①新保町 ②中島町 ③小菅波町 ④柴山町

問49 加賀市( )では、江戸時代から、米と麦芽の甘みを活かした餠づくりが行なわれてきた。

- ①黒瀬町 ②作見町 ③吸坂町 ④天日町

問50 近年、片山津温泉では柴山潟の泥と源泉をつかって( )と称する泥染めがおこなわれている。

- ①愛子染め ②宇吉郎染め ③晶子染め ④芭蕉染め

【第1回初級試験 専門テーマ“九谷焼”に関する問題】

問51 九谷焼そうぎょうの創業は今からおよそ( )年前のことである。  
①120 ②220 ③360 ④520

問52 大聖寺藩初代藩主前田利治は、山師やまし(鉾山技師)の責任者( )に命じ九谷焼かいようを開窯させたという言い伝えが残されている。

- ①土田清左衛門 ②吉田屋伝右衛門 ③後藤才次郎 ④田村権左右衛門

問53 文政年間に、吉田屋伝右衛門が、廃絶はいぜつしていた九谷焼かいようを再興したのは、彼が( )歳のときのことである。  
① 38 ② 48 ③ 62 ④ 72

問54 九谷焼の原料は、おもに( )である。  
①粘土 ②陶石 ③鉄鉾石 ④珪藻土

問55 陶磁器うわえつの上絵付けの際に使用する窯を( )と呼ぶ。  
①あな窯 ②にしき窯 ③すやき窯 ④のぼり窯

問56 九谷焼は、素焼すやきしたあと、およそ( )度の温度で本焼きする。  
①400 ②800 ③1000 ④1300

問57 九谷焼の「五彩ごさい」とは、赤・黄・緑・紺青と( )の5色をいう。  
①桃色 ②白色 ③紫色 ④金色

問58 大聖寺出身の陶芸家( )は、明治時代、陶芸職人を養成する私学校「維新舎いしんしゃ」を設立したり、九谷陶器会社の総支配人として活躍した。  
①飯田屋八郎衛門 ②浅井一毫 ③竹内吟秋 ④滝口加全

問59 石川県九谷焼美術館の常設展示室じょうせつてんじつは、青手の間、色絵五彩の間、( )の間の、雰囲気ふんいきの異なった3室に分かれている。

- ①古九谷 ②赤絵金襴 ③染付 ④吉田屋

問60 大正4年の秋から、およそ半年間、北大路魯山人きたおおじろさんじんは、山代温泉たいざいに滞在し、陶芸家( )のもとで九谷焼を学んだ。

- ①北出塔次郎 ②滝口加全 ③竹内吟秋 ④須田菁華